

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立

輝翔館

中等教育学校

中等1

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>地域への理解を深めながら、幅広い年齢層と共に学ぶことにより、多様性を認め合い、地域や社会に貢献できる人材を育成する学校 ～自然豊かな学習環境の中で、体験的学習と探究学習を基盤とする6年間を見据えた教育活動を行い、生徒一人一人の能力を最大限に引き出し、主体的に社会に貢献できる有為な人材を育成します。～</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の個性や可能性を大切にし、未来を切り拓く強い信念を持った人材の育成 ・次代を担うリーダーに求められる社会貢献への強い意志と実践力を持った人材の育成 ・自然豊かな環境の中で自己研鑽を積み、郷土愛とグローバルな視野を持ち合わせた人材の育成
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中高一貫教育システムを活用した基礎学力の定着と先取り学習を行い、6年間を見通したカリキュラムの設定 ・中高との連携や継続性を活かした、自らの生き方(進路)について考えるキャリア教育の推進 ・全教室設置のICT機器、一人一台タブレット端末等を駆使し、生徒が主体的・協働的に考え、思考力・判断力・表現力を育成する授業の展開 ・総合英会話、英語スピーチコンテスト、グローバルデー等、異文化交流体験の機会の積極的な設定
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何事にも臆せずに行動できるチャレンジ精神旺盛な人 ・人間関係形成能力が身についている人 ・夢や目標を持ち、確かな学力をつけている人

学校運営計画(4月)

学校運営方針			評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>昨年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行を受けて、創立20周年記念式典をはじめとする学校行事を、コロナ禍で学んだことを活かしながら遂行することが出来た。課題は、志願倍率上昇である。そのためには、広報活動に関する教職員の意識改革と抜本的な見直しが急務である。</p>	<p>思考力・判断力・表現力の強化、主体的・対話的で深い学びを実現する</p>	<p>ICT機器を駆使した授業により、生徒同士の学び合いを推奨し、生徒の「表現力やプレゼンテーション能力」を高める</p>	
	<p>生徒の良い点や進歩の状況を評価して、学習意欲や自己肯定感を高める</p>	<p>「指導と評価を一体化」させた「工夫した授業」、「感動を与える行事」の充実を図る</p>	
	<p>発達段階に応じた効果的な指導方法を実践する</p>	<p>「規範意識」に富み、「チャレンジ精神」にあふれた活気ある生徒を育成する</p>	
	<p>生徒の自主的活動の活性化を図る</p>	<p>「生徒会活動の活性化」「知的チャレンジ精神」「ボランティア活動」等を推進する</p>	
	<p>前期課程生徒と後期課程生徒の交流により自己教育力を高める</p>	<p>異年齢交流により生徒が自ら成長する力を育て、「笑顔で活力ある生活」を送らせる</p>	
	<p>本校からの情報発信及び地域社会との連携強化を図り、本校の知名度をさらに上げる</p>	<p>広報内容を刷新した本校の情報発信と、地域行事等への積極的な参加を通じた連携をすすめ、本校のPR拡大を目指す</p>	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
総務部	令和7年度入学志願者選抜志願倍率1.25倍(志願者150名)の達成	生徒が活躍する説明会を企画運営し、本校の魅力をアピールする。 小学校、塾に対して定期的な訪問、広報物の送付を行う。 学校説明会を全職員で行い、学校全体でアピールする。	・説明会参加者へのアンケート ・小学校、塾への本校に対するイメージアンケート	
	儀式的行事の円滑、丁寧な運営	行事を企画立案し、反省評価を確実に次年度に引き継ぐ。 管理職、関係部署との打ち合わせ、連絡調整を密に行う。 表彰式、受賞報告、生徒発表を定期的に行う。	・生徒を対象とする学校行事アンケート	
教務部	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の研究	校外研修等への積極的な参加を促す。 観点別評価に基づいた的確な評価方法を研究する。 ICT機器を活用した授業を推進する。	・授業アンケート ・校外研修等への職員の参加人数等	
	基礎・基本を定着させる学習指導と学習意欲の向上	生徒の学習状況を把握し、個に応じた指導を充実させる。 学力向上のための更なる授業・指導法の改善を図る。 定期考査の採点業務と生徒の実態把握作業の効率化を図る。	・授業アンケート ・学習時間調査 ・デジタル採点システム利用者数	
進路部	希望進路実現へ向けての積極的な取り組み	進路行事の内容や実施時期を見直す。 大学入試説明会等に積極的な参加を促す。 ポータルサイトを活用した入試情報発信を推進する。	・国公立大学受験者の合格率 ・説明会等の職員の参加人数等	
	職員研修の確実な運営と生徒のキャリア教育の推進	研修確実な実施と内容の充実を図る。 生徒の知的チャレンジ活動への参加を推進する。 人権教育を推進する。	・研修の消化率 ・知的チャレンジ活動の参加人数等	
生徒部	望ましい規範意識の育成	挨拶励行・正しい言動・校則を遵守する心を涵養する。 外部講師を招いての講演会を開催する。 学校行事等を通じた生徒集団の自己教育力の育成する。	・学校生活アンケート ・講演会の事後アンケート等	
	生徒の自主的かつ自治的活動の活性化	生徒会執行部や各種委員会活動等の自主的・自治的意識を醸成する。 掲示板や生徒会通信等を利用した活動状況の周知を図る。 生徒会と連携した行事、校則等の継続的に見直す。	・学校生活アンケート ・行事後の感想文、保護者参加人数等	
第1学年	基本的な生活習慣と規範意識を定着、良好な人間関係の育成を図り、明るく安心した学校生活にする	挨拶・時間厳守などの基本的な礼儀作法やマナーを身につけさせる。 輝翔館の伝統行事を通して、自己の役割を全うさせる。 学年職員、家庭、関係機関が情報共有を密に行い、個々の悩みの解決を迅速に行う。	・学校生活アンケート ・三者面談での保護者からの意見	
	授業起立の確立と、家庭学習の習慣の定着を図り、確かな学力を育成する	授業規律を徹底し、落ち着いた学習に取り組める環境を整える。 チャレンジノートを活用し、自主的な家庭学習の充実を図る。 授業・復習のサイクルを意識させ、家庭学習の習慣化を徹底する。	・定期考査、校外模試の結果 ・授業アンケート	
第2学年	基本的な生活・学習習慣の確立と確かな学力の定着を図る	明るい挨拶と規則の遵守を徹底し、1年生の模範となるような行動を促す。 落ち着いた学習に取り組めるよう、授業規律を徹底し、基礎的な知識の定着を図る。 自宅・寮での生活習慣の見直しを促し、学習に集中できる環境を整える。	・学校生活アンケート ・定期考査、校外模試の結果 ・授業アンケート	
	学校行事や校外におけるチャレンジ活動に積極的に参加させ、生徒同士の良好な人間関係の育成を図る	チャレンジ活動に関する情報を幅広く提供し、参加者率70%(校内ボランティア含)を目指す。 資格取得に向けて学習の場を設定し、資格の取得に対する意識を高める。 保護者・関係機関との情報共有を密に行い、生徒が相談しやすい環境づくりを行う。	・チャレンジ活動調査 ・検定受験率、合格率 ・学校生活アンケート	

様式3

第3学年	前期課程最上学年として、学習面や行動面など後輩の模範となる学校生活態度を確立させる	TPOに即して常識的な行動を体現できる自律性と主体性を養う。	・生徒用学校生活アンケート ・行事後の感想文やキャリアパスポートへの記載内容
		元気でさわやかな挨拶を率先しておこない、学校を明るい雰囲気にする。	
		リーダーシップとフォロワーシップの育成に努める。	
第3学年	何事にも挑戦する心を持ち、授業規律の継続と、学習習慣のさらなる定着に努め、確かな基礎学力を育成する	予習・授業・復習の黄金サイクルを意識させ、家庭学習の習慣化を徹底する。	・保護者用学校生活アンケート ・三者面談での保護者からの意見聴取 ・授業アンケート
		多様な価値観を受け入れる心を育て、良好な人間関係の育成を図る。	
		生徒の主体的活動を増やし、より多くのPDCAサイクルを経験させる。	
第4学年	後期最初の学年として、所属の責任を意識した生活習慣や学習習慣を確立する力の育成を図る	時間厳守・言葉遣いのマナーを常に意識させる。また、環境美化への意識を高めさせる。	・学校生活アンケート ・定期考査、校外模試の結果及び学習時間調査
		学習習慣の確立するため家庭学習時間や提出物の状況の把握し、個別面談を実施する。	
		HRや学年集会等で学年の課題や社会情勢の話を適宜行い社会性を育成する。	
第4学年	将来を見据えた進路意識の向上と進路目標の具体化を図る	個人面談を実施し、進路目標を持たせて、文理選択ができるように指導する。	・生徒用学校生活アンケート ・キャリアパスポートへの記載内容
		オープンキャンパスやボランティア活動への参加をうながし、具体的な未来像を意識させる。	
		進路選択の幅を広げるために、多くの資格を主体的に取得できるように取り組ませる。	
第5学年	基本的な生活習慣と学習習慣を確立し、学力向上と学びに向かう力を育成する	時間厳守・挨拶・身だしなみを常に意識させる。健康管理への意識を高めさせる。	・学校生活アンケート ・学習時間調査 ・外部模試の結果
		学習時間(目標平均2時間以上)と提出物の状況を把握し、必要に応じて面談を実施する。	
		外部模試において、学年の25%が偏差値50を超えることを目指す。	
第5学年	生徒理解に努めるとともに社会に貢献できる人材を育成する	二者面談や日常の対話を通して、生徒理解に努め、信頼関係の構築を図る。	・学校生活アンケート ・キャリアパスポートの記載内容 ・三者面談での保護者からの意見
		修学旅行や探究の時間を通して視野を広げ、社会との関わりを意識し行動させる。	
		保護者との連絡を密にすることで信頼関係の構築を図る。	
第6学年	基本的な生活習慣の確立および学校行事への積極的参加を図る	立ち止まっでの挨拶や、場に適した言葉遣いの実践を図る。	・生徒対象アンケート ・出席率 ・生徒感想文
		健康管理への意識を高め、出席皆勤率60%を目指す。	
		体育大会ではリーダーだけでなく、学年全体が意欲的に取り組む。	
第6学年	進路実現のための学習習慣の確立させる	平日180分以上、休日360分以上の学習時間を達成する。	・学習時間調査 ・生徒面談 ・生徒対象アンケート
		学校における隙間時間を学習へ有効活用させる。	
		スマートフォン等に関する利用ルールを設定し、順守させる。	